

For Earth, For Life
Kubota

ON YOUR SIDE

連結決算説明 2021年12月期第2四半期累計

(株)クボタ 取締役副社長執行役員 企画本部長
吉川 正人

2021年8月5日 (木)



2021年12月期第2四半期累計連結決算概要

For Earth, For Life
Kubota

(億円)	2021年12月期 2Q累計	2020年12月期 2Q累計	増減	
			金額	%
売上高	11,014	8,842	+ 2,172	+ 24.6
国内	3,025	2,902	+ 124	+ 4.3
海外	7,989	5,940	+ 2,049	+ 34.5
営業利益	13.4% 1,475	9.2% 817	+ 659	+ 80.7
税引前利益	13.6% 1,494	9.5% 844	+ 650	+ 77.0
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	9.3% 1,030	6.7% 596	+ 434	+ 72.8

予想比増減 (2021年2月)	
金額	%
+ 614	+ 5.9
+ 25	+ 0.8
+ 589	+ 8.0
+ 275	+ 23.0
+ 264	+ 21.5
+ 150	+ 17.0

(億円)	2021年12月期 2Q末	2020年12月期 期末	増減	
			金額	%
資産合計	34,308	31,893	+ 2,415	+ 7.6
親会社の所有者に 帰属する持分	16,103	14,760	+ 1,343	+ 9.1

事業セグメント別売上高

(億円)	2021年12月期 2Q累計	2020年12月期 2Q累計	増減	
			金額	%
機械	9,413	7,191	+ 2,221	+ 30.9
国内	1,604	1,446	+ 158	+ 10.9
海外	7,809	5,745	+ 2,063	+ 35.9
水・環境	1,466	1,503	▲ 38	▲ 2.5
国内	1,286	1,309	▲ 23	▲ 1.8
海外	180	194	▲ 14	▲ 7.4
その他	136	147	▲ 11	▲ 7.6
国内	136	147	▲ 11	▲ 7.7
海外	0	0	+ 0	+ 43.8
売上高合計	11,014	8,842	+ 2,172	+ 24.6

国内売上高	3,025	2,902	+ 124	+ 4.3
海外売上高	7,989	5,940	+ 2,049	+ 34.5

為替の影響（+280億円）を除くと、機械海外は+31%の増。
海外売上全体は+30%の増

*社内組織の変更に伴い、従来「その他部門」に含めていた金融サービス事業を2021年12月期より「機械部門」に変更。
この変更に伴い2020年12月期についても同様の分類に組替再表示しています。



機械 +2,221億円（国内：+158 海外：+2,063）

- 日本

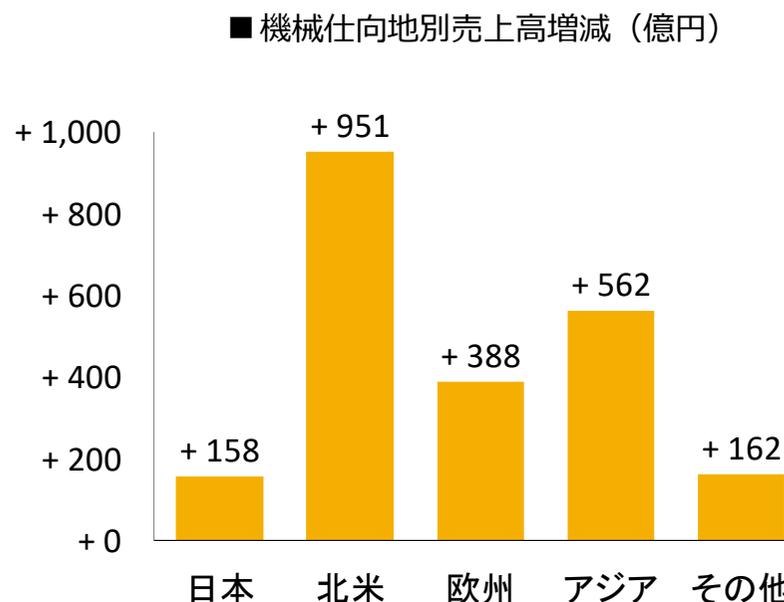
消費増税前の駆け込み需要の反動減からの回復や、経営継続補助金及び優遇税制の効果により農機、建機が増
- 北米

郊外移住などに伴う住宅市場の拡大などによりトラクタ、建機が増。エンジンもOEM先の発注が急回復しており増
- 欧州

ディーラーの営業停止などに伴う低迷からの回復によりトラクタ、建機が増。エンジンもOEM先の増産により増
- アジア

良好な天候や農産物価格の高値安定などを背景に、主にASEANでトラクタ、コンバインが増
- その他

良好な天候や景気回復などにより、主に豪州でトラクタ、建機が増





水・環境 ▲38億円（国内：▲23 海外：▲14）

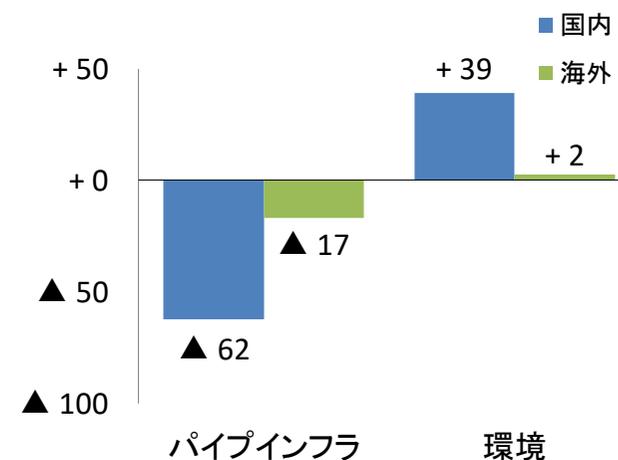
国内

- パイプインフラ関連は、ダクティル鉄管が新型コロナウイルス感染拡大に伴う工事の遅延などにより減
- 環境関連は、排水ポンプ車の増販によりポンプが大幅増

海外

- パイプインフラ関連は、反応管などの素形材がスケジュール遅延や昨年の受注減などにより減

■ 水・環境売上高増減（億円）



(億円)	2021年12月期 2Q累計		2020年12月期 2Q累計		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
営業利益	1,475	13.4	817	9.2	+ 659	+ 80.7

営業利益 (+659億円) の増減要因

1.為替変動	米ドル(108円→108円 ※1) ユーロ(119円→130円 ※1) 他	▲55億円 +30億円 +55億円	} +30億円
2.為替差損益			+83億円
3.原材料	機械 (鋼材、買入部品 他) 水・環境 (スクラップ、ニッケル、コイル 他)	▲50億円 ▲5億円	} ▲55億円
4.インセンティブ率変動	北米+18億円 他		+19億円
5.増減販			+560億円
6.製品値上げ			+60億円
7.その他			▲38億円

※1：但し、日本からの製品輸出にかかる輸送、在庫期間を加味した利益実現レートは、米ドル109円→105円、ユーロ120円→126円程度

事業セグメント別営業利益

(億円)		2021年12月期 2Q累計	2020年12月期 2Q累計	増減
機械	売上高	9,413	7,191	+ 2,221
	セグメント利益	1,439	872	+ 567
	利益率	15.3%	12.1%	+3.2P
水・環境	売上高	1,466	1,503	▲ 38
	セグメント利益	132	99	+ 33
	利益率	9.0%	6.6%	+2.4P
その他	売上高	136	147	▲ 11
	セグメント利益	16	15	+ 1
	利益率	12.0%	10.1%	+1.9P
全社/消去	セグメント利益	▲ 112	▲ 169	+ 57
計	売上高	11,014	8,842	+ 2,172
	営業利益	1,475	817	+ 659
	利益率	13.4%	9.2%	+4.2P

*社内組織の変更に伴い、従来「その他部門」に含めていた金融サービス事業を2021年12月期より「機械部門」に変更。
この変更に伴い2020年12月期についても同様の分類に組替再表示しています。

税引前利益・四半期利益

(億円)	2021年12月期 2Q累計		2020年12月期 2Q累計		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
税引前利益	1,494	13.6	844	9.5	+ 650	+ 77.0
四半期利益	1,131	10.3	652	7.4	+ 480	+ 73.6

四半期利益の帰属

親会社の所有者	1,030	9.3	596	6.7	+ 434	+ 72.8
非支配持分	102	1.0	56	0.7	+ 46	+ 82.3

(円)		2021年12月期	2020年12月期	増減
1株当たり配当	(中間)	21 円	17 円	+ 4 円
	(期末)	(未定)	19 円	-
	(通期)	(未定)	36 円	-

<株主還元の基本方針>

総還元性向：40%以上を目標とし、50%をめざす

- ・ 上限200億円(取得期間：2021年4月21日～12月15日)の自己株式取得枠を設定

財政状態計算書

(億円)		2021年12月期 2Q末	2020年12月期 期末	増減	為替を除く 増減
現金及び現金同等物		2,375	2,229	+ 146	
営業債権		5,890	5,920	▲ 31	▲ 220
金融債権		12,914	11,250	+ 1,664	+ 960
棚卸資産		4,287	3,740	+ 547	+ 360
その他		8,842	8,754	+ 88	
資産合計		34,308	31,893	+ 2,415	
有利子負債		9,567	8,744	+ 822	+ 360
営業債務		3,286	3,236	+ 50	
その他		4,331	4,171	+ 160	
負債合計		17,184	16,151	+ 1,033	
親会社の所有者に帰属する持分		16,103	14,760	+ 1,343	
非支配持分		1,021	981	+ 39	
資本合計		17,124	15,742	+ 1,382	
負債及び資本合計		34,308	31,893	+ 2,415	
DEレシオ (ネット)		0.45	0.44	+ 0.01	
金融を除くDEレシオ (ネット)		▲ 0.28	▲ 0.30	+ 0.02	

キャッシュ・フロー計算書

(億円)	2021年12月期 2Q累計	2020年12月期 2Q累計	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	508	495	+ 13
金融債権の増加	▲ 993	▲ 635	▲ 358
その他	1,501	1,130	+ 371
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 453	▲ 304	▲ 149
有形固定資産及び無形資産の取得	▲ 570	▲ 384	▲ 185
その他	117	80	+ 37
財務活動によるキャッシュ・フロー	23	362	▲ 339
為替レート変動の現金及び現金同等物に対する影響	68	▲ 43	+ 111
現金及び現金同等物の純増	146	510	▲ 364
フリーキャッシュ・フロー	▲ 62	111	▲ 173
フリーキャッシュ・フロー（金融債権の増減を除く）	931	745	+ 186

金融事業の状況 <ご参考（非監査）>

財政状態計算書

(億円)	2021年12月期 2Q末		2020年12月期 期末	
	金融事業	金融事業を除く ベース	金融事業	金融事業を除く ベース
資産合計	14,872	22,137	13,174	20,973
現金及び現金同等物	320	2,055	249	1,980
営業債権	335	5,572	332	5,604
金融債権	12,914	-	11,250	-
棚卸資産	-	4,287	-	3,740
有形固定資産	38	4,367	12	4,235
その他	1,265	5,856	1,331	5,414
負債合計	12,591	7,120	11,153	7,078
有利子負債	11,894	-	10,564	-
その他	697	7,120	590	7,078
資本合計	2,282	15,016	2,021	13,895

損益計算書（金融事業）

(億円)	2021年12月期 2Q累計	2020年12月期 2Q累計	増減	
	金額	金額	金額	%
売上高	432	380	+ 52	+ 13.7
営業利益	205	151	+ 53	+ 35.3
親会社の所有者に帰属する	30.0%	23.9%		
四半期利益	130	91	+ 39	+ 42.6

機械事業の動向

米国

トラクタ、建機の小売は住宅関連市場の好調を背景に増加。一方、港湾の混雑や人手不足に伴う生産・出荷遅延によりディーラー在庫水準が低下

トラクタ小売

中・小型は巣ごもり需要や郊外移住などによる住宅投資の拡大を背景に好調。大型も農作物価格の上昇により堅調に推移

建機/小売

好調な住宅着工やレンタル業者の投資回復により需要が拡大。ウッドショックにより足元の住宅着工は若干鈍化しているが、新製品の立ち乗り式CTLを含め、各機種ともに総じて好調

トラクタ・建機 / 卸売

港湾の混雑に加え、人手不足や部品供給の遅れに起因する生産遅延が続いており、好調な小売に卸売が追いつかない状況。卸売は前年を大幅に上回っているものの、ディーラー在庫は過去最低水準まで低下。人手不足などの解消にはまだ時間がかかる見込みであり、引き続き生産・出荷の最大化ときめ細かい在庫コントロールに注力する

エンジン/卸売

建産機、冷凍トラック関係を中心にOEM先のオーダーが急増しており、総じて堅調

機械事業の動向（米国） - 補足データ

■ トラクタ市場小売台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-12月
2020年	0-40馬力	▲ 8.9%	+ 24.0%	+ 28.2%	+ 33.3%	+ 13.3%	+ 21.0%
	40-120馬力	▲ 5.1%	+ 13.9%	+ 17.1%	+ 21.6%	+ 6.5%	+ 13.1%
	120-160馬力	▲ 14.1%	+ 9.2%	▲ 10.4%	+ 8.8%	▲ 0.1%	▲ 0.3%
2021年	0-40馬力	+ 64.3%	▲ 1.9%	-	-	+ 15.2%	-
	40-120馬力	+ 34.0%	+ 11.4%	-	-	+ 19.3%	-
	120-160馬力	+ 29.8%	+ 16.9%	-	-	+ 22.1%	-

出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

■ 0-8tバックホー市場小売台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-12月
2020年		+ 4.5%	▲ 4.4%	+ 20.2%	+ 27.5%	▲ 1.0%	+ 12.0%
2021年		+ 38.0%	+ 30.4%	-	-	+ 33.5%	-

出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

■ コンパクトトラックローダ市場小売台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-12月
2020年		+ 2.2%	▲ 0.1%	+ 25.0%	+ 24.7%	+ 0.8%	+ 13.8%
2021年		+ 46.5%	+ 32.3%	-	-	+ 37.9%	-

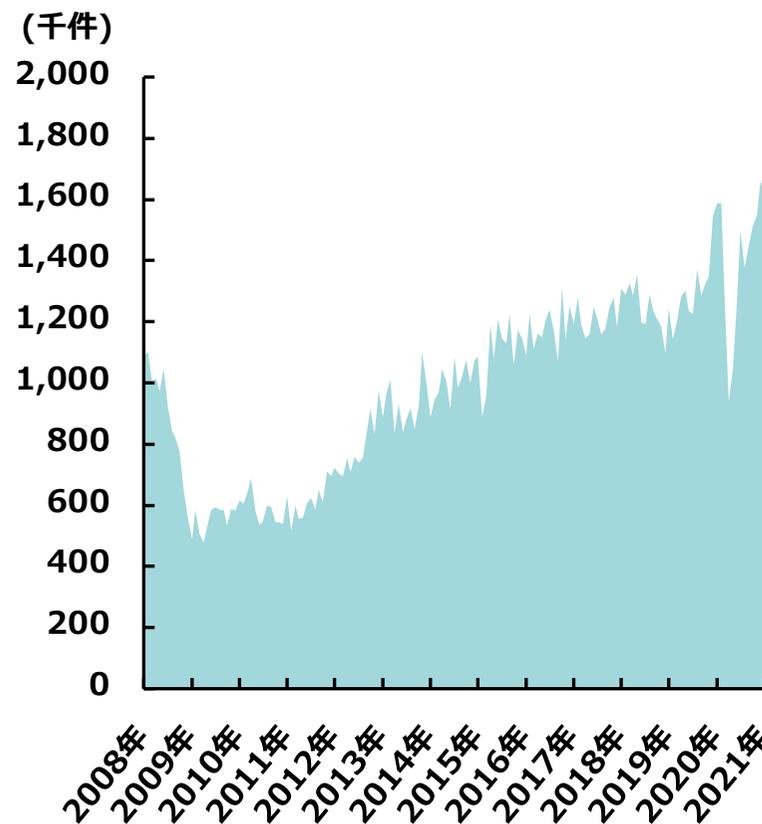
出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

■ スキッドステアローダ市場小売台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-12月
2020年		▲ 10.9%	▲ 23.6%	+ 6.4%	▲ 0.8%	▲ 18.0%	▲ 6.9%
2021年		+ 14.8%	+ 27.1%	-	-	+ 21.1%	-

出典：AEM (Association of Equipment Manufacturers)

■ 米国住宅着工件数（季節調整済・年率換算）



出典：米国内務調査局 (U.S. Census Bureau)

欧州

トラクタ、建機、エンジンともに前年のロックダウンによる低迷から順調に回復

トラクタ/小売

トラクタは前年のロックダウンによる低迷からの回復により、各国で堅調に推移。乳製品や穀物価格の上昇により農家の購買力も回復傾向

インフラメント/卸売

トラクタ同様、堅調に推移

建機/小売

前年の大手レンタルメーカーによる買い控えから回復し、英国、イタリアなどを中心に増

エンジン/卸売

前年のOEM先の生産停止や建産機市場の低迷からの回復により増

タイ・ 周辺国

良好な天候や農産物価格の高値安定に加え、政府補助金も農家の購買意欲向上に繋がっており、需要拡大

トラクタ/小売

農家の購買意欲向上により増

コンバイン/小売

良好な天候や、コメの価格安定・収量増などを背景に増

建機/小売

好調に推移するも、足元で新型コロナウイルスの感染拡大による建設工事の遅延が発生

周辺国/小売

カンボジアは米価が高値で推移しており好調。ミャンマーは政情不安により経済活動が大きく制限された影響により減

中国

前年の新型コロナウイルスの影響から回復。政府補助金予算は前年比で減少しているものの、早期購入の動きなどにより需要は底堅く推移

農機/小売

コンバインは米価や賃刈業者の収益性に改善が見られず、需要が低価格機に向かっているため、前年並みに留まる。更新需要が拡大している田植機や早期購入が進んでいるトラクタは増

建機/小売

価格競争の激化や工事量の減少などにより減

エンジン/卸売

建機向けについては足元で生産調整の動きはあるが、産業機械や冷凍機向けの好調により増

日本

消費増税前の駆け込み需要の反動減による前年の低迷から回復。経営継続補助金や優遇税制の効果もあり農機、建機ともに堅調

農機/小売

農機は、消費増税前の駆け込み需要の反動減からの回復と経営継続補助金により増。前年後半に投入した中型トラクタも好調に推移しており、バーチャル展示会などの営業施策も奏功

建機/小売

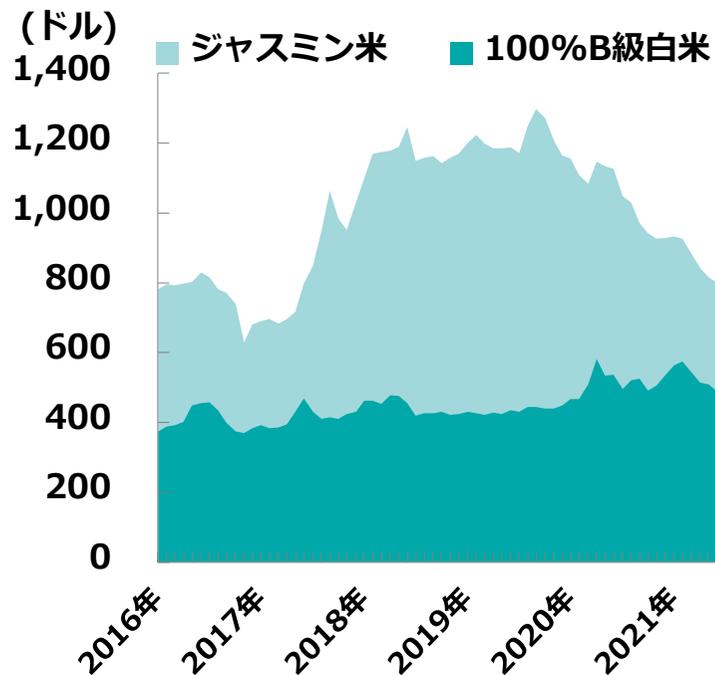
新型コロナウイルスの感染拡大に伴いレンタル会社は設備投資に慎重となるも、優遇税制などによる一般ユーザー向けの好調で補い増

エンジン/卸売

新型コロナウイルスの感染拡大に伴うOEM先の減産からの回復により増

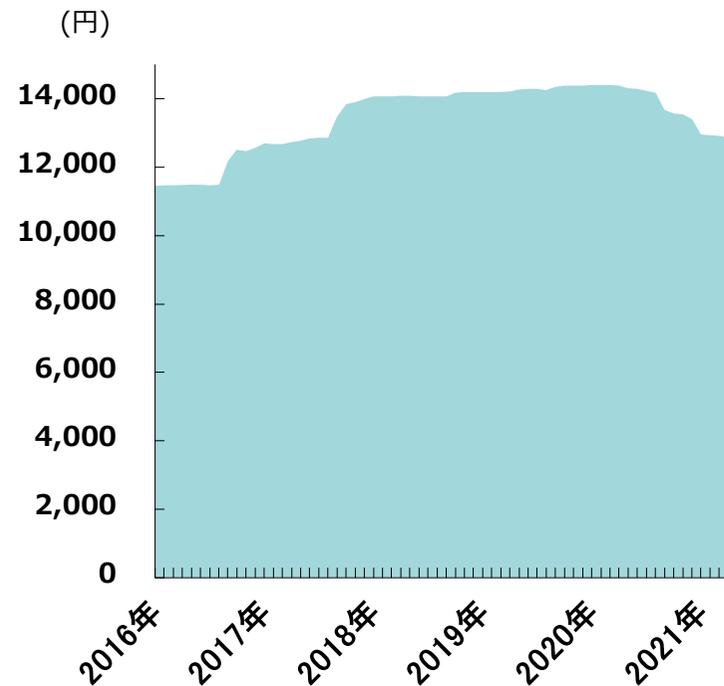
機械事業の動向（タイ・中国・日本） – 補足データ

■ タイ米輸出価格推移 ドル/トン



出典：米国農務省、タイ米輸出協会

■ 日本米の生産者価格推移 円/60kg



出典：農林水産省「農業物価統計調査」

■ 中国 中央政府農機購入補助金推移

		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
補助金(億元)	第1次	130	200	170	210	228	186	186	180	169	140
	年間計	215	218	238	238	237	186	186	180	274	

業績予想

2021年12月期業績予想

(億円)	2021年12月期 (予想)	2020年12月期 (実績)	増減		2021年12月期 (直近予想-2月)
			金額	%	
売上高	21,500	18,532	+ 2,968	+ 16.0	20,500
国内	6,160	5,952	+ 208	+ 3.5	6,060
海外	15,340	12,580	+ 2,760	+ 21.9	14,440
営業利益	12.1% 2,600	9.5% 1,753	+ 847	+ 48.3	10.7% 2,200
税引前利益	12.2% 2,630	10.0% 1,859	+ 771	+ 41.5	11.0% 2,250
親会社の所有者に帰属する 当期利益	8.5% 1,830	6.9% 1,285	+ 545	+ 42.4	7.7% 1,580

足元で新型コロナウイルス変異株の感染が世界的に拡大しており、今後さらに状況が悪化した場合には、当社業績にも影響が出る可能性があります。現時点では想定が困難なため本業績予想には反映しておりません。

事業セグメント別売上高予想

(億円)	2021年12月期 (予想)	2020年12月期 (実績)	増減	
			金額	%
機械	18,000	15,091	+ 2,909	+ 19.3
国内	3,100	2,929	+ 171	+ 5.8
海外	14,900	12,162	+ 2,738	+ 22.5
水・環境	3,200	3,158	+ 42	+ 1.3
国内	2,760	2,740	+ 20	+ 0.7
海外	440	418	+ 22	+ 5.2
その他	300	283	+ 17	+ 5.8
国内	300	283	+ 17	+ 5.9
海外	0	0	-	-
売上高合計	21,500	18,532	+ 2,968	+ 16.0

国内売上高	6,160	5,952	+ 208	+ 3.5
海外売上高	15,340	12,580	+ 2,760	+ 21.9

為替の影響(+410億円)を除くと、機械海外は+19%の増。海外売上全体も+19%の増

*社内組織の変更に伴い、従来「その他部門」に含めていた金融サービス事業を2021年12月期より「機械部門」に変更。
この変更に伴い2020年12月期についても同様の分類に組替再表示しています。

(億円)	2021年12月期 (予想)		2020年12月期 (実績)		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
営業利益	2,600	12.1	1,753	9.5	+ 847	+ 48.3

営業利益 (+847億円) の増減要因

1.為替変動	米ドル(107円→108円 ※1) ユーロ(122円→130円 ※1) 他	▲25億円 +70億円 +75億円	+120億円
2.為替差損益			+70億円
3.原材料	機械 (鋼材、買入部品 他) 水・環境 (スクラップ、コイル、レジン 他)	▲200億円 ▲70億円	▲270億円
4.インセンティブ率変動	北米▲24億円 他		▲38億円
5.増減販			+740億円
6.製品値上げ			+160億円
7.その他			+65億円

※1：但し、日本からの製品輸出にかかる輸送、在庫期間を加味した利益実現レートは、米ドル108円→107円、ユーロ121円→129円程度

事業セグメント別営業利益予想

(億円)		2021年12月期 (予想)	2020年12月期 (実績)	増減
機械	売上高	18,000	15,091	+ 2,909
	セグメント利益	2,640	1,800	+ 840
	利益率	14.7%	11.9%	+2.7P
水・環境	売上高	3,200	3,158	+ 42
	セグメント利益	270	259	+ 11
	利益率	8.4%	8.2%	+0.2P
その他	売上高	300	284	+ 16
	セグメント利益	30	35	▲ 5
	利益率	10.0%	12.2%	▲2.2P
全社/消去	セグメント利益	▲ 340	▲ 341	+ 1
計	売上高	21,500	18,532	+ 2,968
	営業利益	2,600	1,753	+ 847
	利益率	12.1%	9.5%	+2.6P

*社内組織の変更に伴い、従来「その他部門」に含めていた金融サービス事業を2021年12月期より「機械部門」に変更。この変更に伴い2020年12月期についても同様の分類に組替再表示しています。

■ 設備投資・減価償却費・研究開発費

(億円)	2021年12月期		2020年12月期 (実績)
	(今回見直し)	(期初予想)	
設備投資*	1,400	1,400	872
減価償却費*	610	610	532
研究開発費	590	610	553

* IFRS第16号「リース」の適用に伴う使用权資産の計上及び使用权資産に係る減価償却費は含まない

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

A young boy in a blue shirt and light-colored shorts is running through a field of tall grass. He is holding three balloons: one light blue, one orange, and one lime green. The sky is a vibrant blue with scattered white clouds. The overall mood is bright and hopeful.

ON YOUR SIDE

ご清聴ありがとうございました。

For Earth, For Life
Kubota